諸声上げよ 意気高く 百十伝わる 篝火よ 蔦壁照らす 赤き火はったかべて

寮友に負けじと 先へ行けと もっぽん

汽笛が街を 切り裂けば 星降る北は 赤き空

明日を夢見る 炬燵布団で ^{こたつぶとん} (日を夢見る 蠢るくは 若学者

君が心よ清からん

その身醜く

あったとて

君よ恵迪 北の星 応え 轟き 廻る酒 できょう ゆく さけ

五.

君ぞ苦難

0

望みなれ

君忘るるな 新んし き 日で Þ その 心。 朝は来た

二でかっく 「の階段第一歩 笑え 誠なれ

靄こめ朝日 ひとふ 一振り天を 割りたまえ 赤 き 槍 り 朝ぼらけ

田嶋元哉君 作歌 () 作曲